

古賀発！ただいま  
県政刷新中！

第8号 2012年8月発行  
～田辺かずき事務所～  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@  
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】  
■6月一般質問詳細  
新たな教育施策へ  
■公約の進捗を説明  
古賀のみなさんと

# 子どもの「教育力」向上を提起！

## 田辺一城の 発信箱

夏、地域を  
駆ける

夏になると、  
子どものころ  
を思い出しま  
す。古賀の夏

は地域のイベントが盛り  
だくさん。子ども会育成  
会の球技大会、校区や行  
政区ごとの夏祭り。子ど  
もたちが地域の大人の皆  
さんに育ててもらえる  
「当たり前」が根付いて  
いることこそ、古賀の最  
大の魅力です。この夏も  
市内全域を回り、各地

で皆さんから「声」を  
いただきました。政治活  
動にしっかりと生かしま  
す。

### 子どもの「教育力」

6月議会の一般質問は  
「教育力の向上」をテー  
マにしました。子どもの  
学力・体力の向上は、私  
の公約のひとつです。知  
事と教育長に対し、教育  
で家庭と地域が果たす重  
要性について認識を質し  
たうえで、教育先進地で  
ある福井県の公立中学校  
の取り組みを挙げながら

### 公約の進捗を説明

7月、県議としての公  
約の進み具合を自己検証  
し、説明する機会をいた  
だきました。私は就任以  
来、所属党派で最も多く  
質問をしており、常に公  
約を意識しています。説  
明の中では「どの公約が  
どの政策提案につながり  
どのように県政に反映さ  
れたか」などについて資  
料を使って示しました。  
この資料は事務所にあり  
ますので、ご希望の方は  
ご連絡ください。

### 2012年度の決意

政治の重要な役割は  
「発信」と「対話」です。  
古賀市内の各地域の公民  
館（分館）を回って「対  
話集会」を開き続け、ご  
意見やご要望をいただい  
ています。また7月は、  
県内の大学生たちと一緒  
に古賀市内の各所で街頭  
演説をさせていただきま  
した。朝、JR古賀駅や  
千鳥駅に立つこともあり  
ます。引き続き、ご指導  
ご鞭撻のほどよろしくお  
願いいたします。

## ～田辺の一般質問のポイント～

質問の内容	答弁者	答弁の内容
教科センター方式、スクエア制の導入を	教育長	情報収集し、積極的に取り組みを検討していく

政治活動を連日発信中！

ブログ(活動日記)  
公式ホームページ

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>  
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>



▶古賀市内全域の「夏祭り」を回らせていただきました。



▶街頭演説で、県議会活動を報告し7月1日、ルミエール前

裏面へつづきます



6月議会の一般質問＝6月19日、県議会本会議場

「新たな教育施策の展開」を政策提案し、前向きな取り組みを約束してもらいました。

# 県教委「新たな教育施策」を検討へ！

6月議会  
一般質問

## 田辺「『教科センター方式』の導入を」 教育長「情報収集し、積極的に検討」

県議会6月定例会（6月11日～27日）で、私は5回連続5回目の一般質問に立ちました。テーマは「新たな教育施策と家庭、地域の教育力向上」です。質問に先立ち、子どもの学力・体力が全国トップクラスの教育先進地・福井県を視察（5月16日～17日）し、この成果を踏まえ、知事と教育長に質問しました。私が提案した「教科センター方式」や「スクエア制」について、前向きに検討する意向が表明されました。

## 県、家庭教育・子育て支援を推進

子どもの学力や体力を向上させるためには、教育施策だけでなく、社会全体の「教育力」を向上させる必要があります。教育力を底支えるのは「家庭」と「地域」です。「学力向上と生活習慣との相関は明らか」（福岡県の2010年度全国学力・学習状況調査の報告書）であり、「早起・早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、当たり前の生活習慣を確立させることが、子どもたちの学力や体力を向上させるためには、三世代同居や子育て支援策をはじめとする周囲のサポート体制の充実が不可欠であることを指摘しました。知事は「基本的な生活習慣や善悪の区別、社会のルールを守ることなど、保護者がしっかりと子どもに身につけさせていくことが重要」と述べ、いっそう家庭教育の推進を約束しました。

### 公約の進捗を自己検証し、説明！

7月1日、「田辺かずき後援会」（納富育代会長）の皆さんが総会を開催してくださいました。私はこの機会をいただき、自ら検証した「公約の進捗状況」について報告しました。私が柱とした「福祉の充実」「強い経済」「議会改革」「防災対策」「地方分権（地域主権）改革」「古賀市『発』、福岡県へ」が、どのように政策提案に生かされ、県政に反映されているか。まだ任期の途中ですが、成果や課題を整理しました。また、政治資金収支、政務調査費の用途、視察の意義についても説明しました。

### 政治資金収支、政務調査費使途も

## 古賀東小・えんがわくらぶを紹介 知事「世代間交流、優れた活動」

古賀東小学校の敷地内を拠点に、世代間交流とシニアの生きがいづくりに取り組み「えんがわくらぶ」を紹介しました。知事は「学校と連携した世代間交流に取り組んでおられる優れた活動」と、教育長も「子どもたちのコミュニケーション能力を高め、豊かな人間性や敬愛の精神を養う。活力あふれる地域づくりの役割も高く評価される」と、交流の推進を約束しました。

## 田辺「自主性、自律性の涵養を」

さらに、私から具体的な教育施策の展開を提案。福井県の坂井市立丸岡南中学校の先例から、各教科が専用教室を持ち、生徒自らが毎時間、専用教室に向く「教科センター方式」と、日常的に学年を越えた縦割りを実践する「スクエア制」について、福岡県内に導入するように強く求めました。これらの仕組みは、学力向上の基盤である子どもの「自主性」「自律性」の涵養に極めて有意と考えたため、教員の資質向上に極めて

です。教育長も認識を共有し、「先行事例を参考に、これらの取り組みに対する情報収集を行うべく、積極的に取り組む」と述べ、前向きに取り組む意向を表明しました。また、私からは「中高一貫教育校」の整備状況や、県教委が今年度から実施できるとの方針を示した「土曜授業」についても問いました。これらについては質問翌日、全国紙が記事として報道しました。

## みなさんと ともに 古賀での活動

7月下旬から8月上旬が「夏祭り」のピークです。1日10カ所以上という夜もあり、友人に車の運転を協力してもらい、懸命に回らせていただきました。米多比区・不入谷のそうめん流しや筵内区の子ども山笠へも。青柳小学校区の「通学合宿」、古賀東区の運動会にもおじゃました。どこも子どもたちの笑顔が印象的でした。

消防団の操法大会、古賀市民オーケストラの演奏会、体育協会の各種イベント、みさカラオケ教室のおさらい会、身障者体育大会、ハマボウまつり、D1だじやれグランプリ予選、老人クラブ連合会、市民オペラ……このほか書ききれないほど多くの団体さんの総会や行事にお招きいただき、挨拶をさせていただいています。

また、地元農産物直売所「コスモス広場」を訪ね、組合長さんに現状を聞かせていただきました。大根川の現況を地元の方々と見て回りました。地域のお食事会をはじめ古賀市内外に「出張」しての県政報告・対話集会も。これからも引き続き、市内各地に足を運ばせていただきます。

所属会派のメンバーで、集中豪雨で被災した県南地域を視察。復旧・復興に向け、しっかりと取り組んでいきます。また、県内中小企業進出の可能性を探るため、「民主化」が急速に進むASEAN後発国ミャンマーの現況を調査しました。（詳細な報告は公式HPやブログにあります）



朝のJR千鳥島駅で挨拶



コスモス広場で



古賀の海岸に咲くハマボウ

ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>  
公式HP <http://www.tanabe-kazuki.jp/>

### <田辺かずき プロフィール>



1980年5月16日生まれ  
1987年 暁の星幼稚園 卒園  
1993年 花鶴小学校 卒業  
1996年 古賀中学校 卒業  
1999年 福岡県立福岡高校 卒業  
2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業  
毎日新聞社 入社/福井支局 配属  
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材  
2006年 大阪本社社会部 配属  
橋下徹・大阪府知事（当時）、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む  
2011年 福岡県議会議員 初当選  
毎日新聞社 退社  
〔所属〕厚生労働環境委員会、国際交流推進対策調査特別委員会、民主党福岡県第4区総支部 幹事長、民主党福岡県連「団体交流委員会」副委員長、同「青年・国民運動委員会」事務局長

〔家族〕会社員の妻、5歳の長男、2歳の長女  
〔最近のおすすめ〕夏になると、毎朝の楽しみは梅のサワードリンク。今年、わが家では母から妻に作り方が伝授されました。ふと子どものころに遊びまわった鹿部山が懐かしくなり、西峰の皇石神社へ。クワガネモチやイチヨウの木が心を癒してくれます。日々、インターネットのブログやTwitter、Facebookも活用し、政治活動を詳細に報告しています。